

第1回議会報告会報告書

1 開催日時・開催場所・参加者数

開催日時	開催場所	参加者数
平成24年11月8日(木) 午後7時～午後8時35分	グリーンホール田原 なるなるホール	18人
平成24年11月9日(金) 午後2時～午後3時30分	市民総合センター 展示ホール	32人

2 出席議員(報告会派順)

- ・日本共産党市会議員団
幹事長 岸田 敦子
阿部 佳世
- ・市議会公明党
幹事長 曾田 平治
小原 達朗
山下 幸恵
瓜生 照代(議長)
- ・四條畷維新良政会
幹事長 大川 泰生
副幹事長 森本 勉
吉田 裕彦
渡辺 裕(副議長)
岡山 毅
平野 美治
- ・畷市民クラブ
幹事長 長畑 浩則
島 弘一
佐藤 誠
- ・会派に属さない議員
土井 一憲

3 報告内容

平成24年9月議会の本会議質疑、一般質問、常任委員会及び決算特別委員会の質疑内容について、各会派及び無会派議員から報告した。

4 質疑応答及び意見交換の概要

(1) 平成24年11月8日におけるもの

問 市制施行して40年以上も経っているのに、今になって議会報告会を始めたのは何故なのか。

答(瓜生議長) 今までは議員が個々に報告会を開催してきた。本年4月1日から施行した議会基本条例により今回初めて議会報告会を開催することとした。今後、開かれた議会を目指して、回を重ねていきたい。

意見 報告内容は項目が多すぎてわからない。1点か2点に絞って報告してもらった方がよい。

問 平成24年2月発行の議会だよりに掲載された議員定数及び報酬等特別委員会の結果報告では、議員報酬と政務調査費については結論が出ずに、会派代表者会議に委ねられたとあるが、その結果はどうなったのか。

答（瓜生議長） 議員報酬については、現在の5%減額措置を継続することとし、条例で当分の間とあるのを現在の議員の任期中に限るものとする事で合意に至った。政務調査費については、現状維持となっている。

問 それらの結果について、議会だより等で公表されたい。

答（瓜生議長） 会派代表者会議で検討し、出来る限り公表に努めたい。

問 市の財政については歳出を制限することよりも歳入の増を図るべきと考えるが、各会派等の考えを伺いたい。

答（岸田議員） 確かに歳入増は大事である。子どもの医療費助成の拡充や少人数学級の導入による教育の充実でまちづくりを進めることにより人口増を目指すべきだと考えている。歳出についてもごみ収集委託の競争入札による委託料の減が図れると考えている。

答（曾田議員） 乳幼児医療費の助成制度の拡充などにより子育て世代の住みやすいまちづくり施策をしっかりと進めていきたい。

問 具体的な収入増の施策について伺っている。

答（曾田議員） 本市は企業誘致などにより法人税の増収は見込めない。個人住民税の増収を図るための人口増の取組みが大事である。

答（森本議員） 歳入確保については、イオンモールの出店により法人税と固定資産税で毎年3億5000万円ほどの増収が見込める。また、市内の居住者から2000人の雇用を要望しているので、実現すれば個人市民税の増収につながるものと考えている。もう一つは、公共の建物が老朽化しているので、分散している公共建築物を統合することにより生み出した利用可能な土地を住宅開発などに活用して人口増を図ることなどを考えている。

答（長畑議員） 今の国際状況からみても企業誘致はこれからは見込めない。人口増は教育行政を充実することで図るべきと考えている。京都ではすばらしい学区がひとつでき、そのことが新聞報道されたことでその地区の人口が増加し、それに伴い固定資産税までもが増加したなどの事例がある。

答（土井議員） イオンが出店する地区は市街化調整区域であるので市街化区域に編入して、固定資産税と都市計画税の増収を図るべきと考えている。

意見 私は末端ボランティアをしている者であるが、しなくてもいいと思う活動を市は、国からの命令があるため、実績作りが必要であるからと、私たちの意見を聞いてくれない。少し考えて欲しい。

(2) 平成24年11月9日におけるもの

要望 集中豪雨やゲリラ豪雨の話があったが、避難場所に指定されている小学校には、高齢者や障がい者は緊急に避難することが困難である。付近のマンションや商業施設などを一時避難所とするなどの措置を講じられたい。

問 議会基本条例を制定して、今後どのように運用していくのか各党派等の考えを伺いたい。

答（岸田議員） 議会基本条例が施行されて、議会運営で、反問権や自由討議などが実施され、少しずつ議会が変わってきていることを実感している。

今後、議会報告会も含めてもっと工夫していかないといけないと考えている。

答（曾田議員） 今後もしっかりとやっていきたい。

答（大川議員） 始めたばかりでなかなかうまくできないが、自由討議をもっと活用して議員間の議論を活発にしていきたい。

答（長畑議員） 質問主旨は行政と議員との議論に議会基本条例をどう活かしていくかということであると思うが、反問権はもっと運用を考えていかなければならない。

答（土井議員） 議会基本条例に従来はなかった一問一答方式が明文化されたので、これからもっと活用していきたい。

要望 都市計画道路雁屋畑線の供用開始に伴い、接続している狭い道路の交通量が増加することになるので対策を講じられたい。

要望 議員定数が4人削減され12人になる。議会の活性化が心配である。頑張ってもらいたい。